

第101号
2013.1

荏原第二
地域センター内
地域新聞編集部
電話(3782)2000

「成人に対する思い」

小山六丁目町会 T・Y

二十歳が子どもから大人になる年らしいが、私はそれに対してまだ歳が一つ上がるだけで今までと変わらないではないかと反発心を抱いていた。私は成人式のあと誕生日のため十九歳で成人する。自分一人ではまだ何もすることができず、家族の支えがなければまだ半人前だ。大学に通うことができるのは両親のお陰、両親だけでなく、言葉には出さなくとも心配してくれている兄弟や祖父母。何もできない私は「成人」といえるのか。成人してからも支えは必要だが、なるべく自分の力でできるように努力したい。

一番は夢の職業につくこと

だろうと思っている。私の成

人を楽しみにしてくれている

人、夢を応援してくれてい

る人がいる。成人の二文字にふ

さわしい生き方をし、少しず

くは僕が浪人することを認めて

くれた。今までの習慣がそ

つ周りに恩返しをしていきた

いと思っている。

「祝 成人式」



荏原五丁目町会 T・N

長かったようであつという間の二十年だった。僕は、こまで自分を育ててくれた家族に感謝している。

去年、僕は大学に入るため

学生という時間もあとほんの数年しかない。次は就職も

待っている。この成人式といふ機会に、今度は社会人となる一人の大人として、気持ち



「孤立死をなくせ」

NHK (生中継)で放映されて

小山七丁目町会副会長 阿部 佐千子

10月22日(月)午前7時47分から5分間の放映に、6時半の集合を20数名の出演者は、張り切って参集。

我町は、隣人付き合いの糸も薄く、お互い干渉はしない事が美德の環境でしたが、品川区の孤立死ゼロ作戦に併せ(平成20年に二名の孤立死者有)また、首都圏直下型大地震への対策や少子高齢化の街としては何とかしなければ、住民で支え合い活動のプロジェクトをスタートさせました。

会員は「いざ」という時の仕組みに対しどのように二一ツを持っていらっしゃるのか?

のアンケートを21年と23年の二回調査をし、災害時の要援護者とそれを支える支援協力者とを結び付けるマップをパソコンでシステム化した。同意した登録会員の個人情報保護による管理上の留意点は、

- ①データへのアクセス権は限定する。
- ②プリントアウトはしない。
- ③インターネットにつながらない。



親子ハキング(埼玉県)
むさしの村とあいも掘り

小山六丁目町会 大西 るな子



11月11日に開催された「むさしの村とおりも掘り」バスツアーに、母、主人、5歳の子どもと私の4名で参加させていただきました。当日は午後から雨の予報で、私も掘りが好きなのかどうか心

来年も楽しみにしています。

子どもも大人も満足できる企画を考えてくれて、本当にありがとうございました。そして、そこでも良い皆様、大変お世話になりました。また



配達したが、辛い帰りのバスに乗るまで雨は降らず、一日楽しく過ごすことができました。さつまいもは予想以上に大きく、傷つけないように気を遣わなければいけないため、一つ掘るのも大変な作業でした。でもその大変な作業を自分が経験して、食べ物のありがたさが改めて解った気がしました。いつも掘りの後は自由行動です。大型のテーマパークにはない懐かしいアトラクションもたくさんあります!これも来りたい!あれも乗りたい!と、家族皆で童心に返って遊びました。また来たりね、楽しめた!と言い合ひながら、かいもをたくさん抱えて家に帰りました。

子どもも大人も満足できる企画を考えてくれて、本当にありがとうございました。そして、そこでも良い皆様、大変お世話になりました。また

マイ・メモリー

「線路向う」小山六丁目 山田
「さいかち」第100号発行記念おめでとうございます。

当初は鉄筆で、ガリ版刷りで大抵の季刊誌はいさぎよくて、3号4号になると種がなくなり廃刊に追い込まれます。その点「さいかち」は内容が充実して立派で毎号楽しみに読ませて戴き、頭の下がる思いでございます。また関

召一會長の前書きで、さいかちの木の由来や大和染物店の渡辺祥一様のお名前が出ていて非常に懐かしく思いました。渡辺様が90歳の高齢でありながらお祭りのお神輿の指揮をとつておられたのには感激しました。

私が住んでいるところは、西小山駅の西口にあり荏原第二地域センターか

ら見ても六丁目町会から見ても線路向うといわれています。昔は弁天町会と

▲ 投稿をお寄せいただきました。



「さいかち」が150号、200号に向けて
発展することを祈つて筆をおきます。

本当にありがとうございます。

称し、産婦人科病院を始め床屋が三軒、

駄菓子屋二軒、焼き鳥や、焼き芋や等お店だらけでありますたが現在は一軒もお店は無くなり、住宅地になつてしまいま

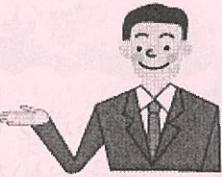
した。一步歩くと目黒区洗足です。

目黒区碑文谷の新米のお巡りさんがご

自分の管轄管内と勘違いしてパトロールしてくれます。いわゆる治外法権の

みそつかすと思つておりましたが、松井利夫さんのエッセイが「さいかち」に掲載され、非常に嬉しく存じました。

また選挙の立会人にも線路向うの仲間が選ばれました。あながちみそつかすこと異なると存じます。



地域センター営業時間外の窓口のご案内

武蔵小山行政サービスコーナー戸籍住民課分室

【取扱時間】

平日 午前 8:00～午後7:00
土日 午前10:00～午後3:00

祝日・年末年始(12/29～1/3)は休業 (※祝日が日曜日の場合、翌日の月曜日は午前10時～午後3時開業)

【取扱業務概要(利用できる方)】

戸籍諸証明書(請求対象者本人と同一戸籍の方)、住民票の写し等(請求対象者本人と同一世帯の方)、印鑑登録証明書(印鑑登録証を持参の方)の交付や予約済みの品川区立図書館蔵書の取り次ぎサービス(※一部取り扱いができない業務がありますので当行政サービスコーナーへお問い合わせください)。※第三者請求は取り扱っていません。

【所在地】

品川区小山3-27-5 武蔵小山創業支援センター4階
電話03-5749-0050



地区委員研修会（福島県）

「研修24〆千てん末記」

桂原五丁目町会 高橋 総ノ助

冬が来る前に今年度の研修会が行われました。実行委員の間で本年度は一泊の要望が強くだされました。研修地の選定先はすんなり決定しました。福島です。やはり各委員の胸の内には「がんばろう福島」の熱意があつたと思います。

早朝の出発にもかかわらず定刻の出発でした。渋滞の影響もわずかで、二本松インターまでの順調な運行でした。バスの中では、薬物の恐ろしさをビデオで学習し、皆、改めて理解しました。

「脱法ドラッグ」は身の破滅を招くと心に刻みました。安達ヶ原ふるさと村のかやぶきの古民家の中

にトライしました。和紙の染めから始まり、ミラーを入れて完成ですが、寒さと暗い所での作業が、先人の苦労を知るようになります。翌日は、大内宿で初冬の散策を楽しみました。まもなく、宿場の活動も止み、雪のゆりかごの中で春を待つのでしょうか。昼食後にも研修の一つが待っていました。花瓶類の装飾（デコパージュ）をすることです。那須ハイランドでワイワイ楽しい一時でした。

一人ひとり、立派な「作品」を手にしたことを見せておきます。

当委員会の良さをあげるならば“実行力”と“結束力”だと考えます。二日間にわたるこの研修会はより一層、深められたと自負しております。



古民家前で自作の万華鏡を手に♪



高台からの大内宿の眺め♪

前回お送りしました、100号記念特集はお楽しみいただけましたでしょうか？

これからもご愛読のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

皆様からのご意見・ご感想などありましたら、お待ちしています。

編集委員一同

次回のさいかち（第102号）は
3月21日発行の予定です。



小学生大なわとび大会

平成25年3月3日(日)
9時00分 開始
第二延山小学校

子どもたちの熱い戦いを
ぜひ応援してください♪

詳しくは、
桂原第二地域センター
(☎ 3782-2000)へ

